

とむろいし 戸室石だより

土堀の石垣のように、みんなで、暖かい病院を！ 発行：金沢医療センター編集委員会

「副院長に就任して」

能登 裕



本年5月1日付けで副院長を拝命し、その責任の重さに身を引き締めつつも、時には押し潰されそうになりながら、早や半年経過いたしました。めまぐるしく変わる医療環境の中で多くの問題が提起されている昨今、統括診療部長を務めさせていただいた2年間の間に、当院では手厚い看護を目指した上位看護基準の取得、かかりつけ医と当院の主治医とが共同で診療に当たる開放病床の開設、DPC（診断群分類別包括評価）の導入、地域がん診療連携拠点病院の指定取得など、多くの改革が行なわれてきました。特にDPCに際しては、私自身がプロジェクト推進役として医療スタッフや事務の方々の多大な協力を得て導入に漕ぎつけたことが思い出されます。

各診療科の先生方やコメディカルスタッフ、さらには医療現場を支えてくれている事務の方々が一丸となり、各自の能力を最大限に発揮できる環境作りが私に課せられた最大の役割であり、それが患者さん中心の「安全で質の高い医療」を提供する基盤を成す、というこれまでの私の考えはいささかも変わりませんが、院長の掲げられている課題「地域完結型の医療の推進」と「がん診療の充実」を達成するため、院長を補佐していくことが私に新たに加わった重要な役割と自覚しています。皆様方の御協力と御助言を切に願うものです。

「統括診療部長に就任して」

池田 清延



本年5月1日付けで統括診療部長を拝命いたしました。過去2年間、私は教育研修部長ならびに救急部長として診療、教育指導、臨床研究に携わって参りましたが、医療情勢は大きく変わって来ています。平成16年からの初期臨床研修医制度により研修医の大都市移動に始まる地方病院での勤務医不足、医療安全の叫ばれるなかで勤務医に課せられる激務と重責、小児科および産婦人科勤務医不足による救急体制の再整備などが、対岸の火事ならず確実に当院にも押し寄せてきています。現在の医療情勢はご存知のように非常に厳しいわけですが、歴史ある金沢医療センターで患者さん中心の安全で高度な最良の医療を提供するため、院内で各診療科医師ならびにコメディカルスタッフとの総力を円滑に連携するチーム医療の基盤造りと推進が私の職務かと考えています。そして院外に向けては、

血管病センターでの予防医学・治療やがん診療連携拠点病院として高度な政策医療に対する臨床研究活動をさらに進める一方、急性期病院として地域かかりつけ医の先生方と協力し合い地域完結型医療を目指し、新しく更新された相談支援センター（地域医療連携室・医療福祉相談室・がん相談支援室・医療安全推進室）や講演活動などの医療情報の受発信により、地域の先生方と患者さんに膝と膝を付き合わせた開かれた医療を提供できます様、粉骨砕身して事に当たる所存です。

私は脳神経外科医ですが、非常に難しい手術に臨むとき、いつも「鬼手仏心」と唱えます。多くの不安を抱えて来院される患者さんやご家族と十分に会話を交わして病気とその治療にご理解いただくことこそ治療の第一歩であり、患者さん・ご家族と医師・スタッフは病魔という共通の敵に対して一緒に徹底的に戦う戦友だと考えています。皆様方のご協力とご助言を賜り、院長、副院長、病院スタッフとともに患者さんのために尽力する所存です。

あっ、地震だ!!

～近隣での大地震を想定した災害訓練を実施して～

災害医療対策室長 阪上 学

今年、能登半島沖地震、中越沖地震と大地震が立て続けに発生し、この際、近隣の病院に多数の傷病者が搬送されたことは記憶に新しいことです。当院はこれらの地域にも急性期から医療班（DMAT*）を派遣しこれらの病院の支援にあたりましたが、万が一近隣で大規模地震が発生した場合は、災害拠点病院である当院が多数傷病者を引き受けることとなります。当院ではこれらの事態を想定した災害訓練を9月13日に実施しました。平日午後100名を超える職員が参加した大規模な訓練でした。災害医療で最も重要なことは、助かるはずの人を一人でも多く救うことであり、このために一度に大勢来院する傷病者の診療の優先順位を決定し、振り分けをする「トリアージ」をまず行うこととなります。今回はこのトリアージを初め、重症度別に開設した診療ブースでの診療、および院内での患者搬送訓練を行いました。当日は当院附属看護学校の学生さんに模擬患者役になってもらいましたが、学生さんは傷病に関する事前勉強をし、自分でメイクをして訓練に臨んでくれました。迫真の演技のため、最初は余裕で対応していた当院のスタッフたちも途中からメイクした学生より青くなっていた光景が印象的でした。今回の訓練参加者から多くの反省点がよせられ、今後の対応を考える上で大いに有益だったと考えています。当院では大規模災害発生時にもスムーズな対応ができるように、毎月1回災害医療に関する職種を越えてミーティングを行っています。

また、これからも年に1回このような大規模災害を想定した訓練を実施していきます。今後は一般の方々にも災害ボランティアとしてこのような



活動に参加していただくことも計画していますので機会があれば是非参加をお願いします。確かに「災害は忘れた頃にやってくる」ですが、「備えあれば憂いなし」です。

※DMAT：Disaster Medical Assistance Teamの略で内閣府・厚生労働省の主導で災害発生急性期に現場もしくは現場近辺の災害拠点病院で活動する医療チームの養成が日本で進んでおり、日本で既に300チーム以上が研修訓練を終了している。当院にもこのDMATチームが2チームある。

外来治療センターの開設

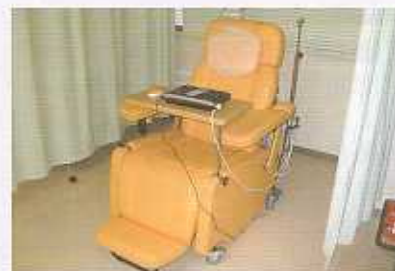
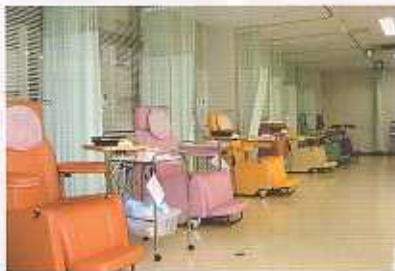
～化学療法を受けられる患者さんの「生活の質(QOL)の向上」を目指して～

外来治療センター 北 俊之

通院による「化学療法」では、入院による「化学療法」に比べて、日常生活に近い状態で治療を受けていただけるため、生活の質（Quality of Life：QOL）の向上が期待されます。生活の質とは、「仕事や社会生活の維持」、「趣味・娯楽・食事・芸術・スポーツ・旅行の継続」、「家族・肉親との再会」、「友人関係の継続」などを指します。化学療法の多様化に伴い、患者さん自身が求められる生活の質（QOL）が変化してきており、化学療法もできる限り日常生活の延長上で行われるようになってきました。

当院では、これまで、通院による「化学療法」を各科の外来処置室で行って来ました。しかし、すぐ横で救急患者さんの診察や処置が行われることもあり、あまり良い環境ではありませんでした。また、平成19年1月に地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、これに伴い外来化学療法の体制を整備することになりました。そこで、平成19年10月15日に、通院による化学療法を受けたい患者さんのための専門部署として「外来治療センター」を開設しました。当番医師1人、看護師2人、薬剤師1人が勤務しており、効率的かつ安全に「化学療法」が行われるようになりました。リクライニングチェアが6脚、ベッドが2床で、一度に8人の患者さんに対して治療を行うことが可能です。センター内には、ウォシュレット付きトイレ、共用の冷蔵庫・電子レンジ・電気湯沸かしポット、さらに、各リクライニングチェアとベッドにはDVDプレーヤー付きテレビを備えています。治療中は隣の患者さんと談笑したり、食事をしながらテレビや読書を楽しむなどリラックスした雰囲気の中で治療を受けたいことが出来ます。また、患者さんのプライバシーにも十分配慮し、カーテンで仕切ることも可能です。

これからも、患者さんのご意見・要望を取り入れ、安全で快適な環境を提供しつつ、安心して治療を受けられるように支援させていただきます。



ニッタ先生の神経百話(第14回)

～世の中真っ暗、目の前真っ暗(脳卒中シリーズその6)～



最近、某国ではお偉い大人達がぶっつんして、無責任に仕事は放り出すわ、偽装がばれて頭を下げまくるわ、物価は上がるわ、世の中真っ暗ですな。皆様。

めまいで救急外来を受信されたLさん。めまいは治まったのですが、そのとき奥様がとても大事なことを話してくださいました。

つい先日、夫が「工作中、急に左目が真っ暗になった。痛くもかゆくもなかった。10分くらいで見えるようになった。」と、言っていました。私は心配で心配で、一度精密検査を受けてみたらと、夫に話していたんです。

片方の眼が急に見えなくなり、しばらくして見えるようになる症状を**一過性黒内障**といいます。これは眼の病気ではなく、眼の血管が詰まる病気なのです。眼に行く血管は脳に行く血管と同じ血管から、途中で枝分かれをしています。片方の目が急に見えなくなったのは、眼の血管が急に詰まり(たいていは、血管の中でできた血のかたまりが、眼の血管に飛んできて血管のふさいでしまうため、網膜が働かなくなり見えなくなります)、しばらくして血のかたまりが溶けたので、また見えるようになったのです。これが、眼の血管ではなく脳の血管に飛んでいけば・・・、そう、**脳梗塞**です。つまり、このままでは脳梗塞になりますよ、早く診てもらわないとだめですよ、と、神様が送ってくれた黄色の信号なのです。脳梗塞は多くの場合、何の前触れもなく急に起こりますので、Lさんのように**危険信号**が出る方はラッキーです。即入院していただき検査をしました。奥様のお話がなければ、「めまいはよく治ったので、よかったですね。」と、帰っていただいていたところでした、夫をいたわる、やさしい妻の愛情が何よりですね。

看護師さん：これって、女性へのあてつけ～？、それとも嫌がらせ～？。自分の願望～？。先生～、作ってな～い??

ニッタ先生：えへえへ、すべて本当の話ですよ～。あたしゃ、ウソは申しません。女性に嘘なんかつけるはずがないじゃないの～、怖くて、怖くて。

ロビーコンサート だより



第15回ロビーコンサートは年末恒例の第9交響曲のソリストとしてご活躍のソプラ歌手、石川公美さんをお招きし、7月5日に開催されました。プログラム前半は、石川さんに歌のレッスンを受けている当院看護師の嶋真理子さんの独唱、石川さんとの重唱が披露されました。ついで院内スタッフ(越田・バイオリン、瀧口・フルート、伊勢・ピアノ、宮川・ピアノ)による独奏や連弾が続き、変化に富んだプログラムとなりました。後半のステージでは、再び石川さんの独唱でヘンデル、オッフェンバックの歌劇の曲に続いて、「この道」、「からたちの花」などお馴染みの曲が披露され、その美しい歌声に聴衆は最後まで魅了させられ至福のひとときをみなさんで共有できた一夜となりました。

第16回は9月27日に院内スタッフ(伊勢、越田、瀧口)に加えて、第14回コンサートでご出演頂いたバイオリンの山口泰志先生(やまぐち内科クリニック)、チェロの谷内朋子さんの計5名により、様々な楽器の組み合わせで計12曲が披露されました。当日はバイオリン奏者2名が開演時刻に間に合わず、予定していたプログラムの順番を変えたり、予定外のピアノのソロを入れたり、ついにはトークまで持ち込んで、なんとかその場を繋いだというのが真相でありました。最後にアンコールの声を頂いた時は、それ以上演奏できる曲もなく、力尽きた感がありましたが、後で患者さんやご家族のかたから、心休まるコンサートであったとの評を頂き、また意欲が湧いて参りました。(越田 記)

医療相談センターのご案内

この度、病院一階の血管病センター通り沿いに医療相談支援センターが新規改装されました。地域医療連携室と医療福祉相談室隣りに、新たにかん相談支援室と医療安全相談室が加まりました。本日はそれらをご紹介します。

地域医療連携室は医師、社会福祉士、看護師、事務職員で構成され、地域の医療機関との連絡窓口となり患者さまにより良いサービスを提供し、またセカンドオピニオンの相談・受付も行っていきます。

医療福祉相談室は専門の相談員(社会福祉士)が患者様・ご家族と個別面接することにより、入退院やその際の経済的問題、社会保険・福祉制度、在宅療養継続に関するご相談をはじめ、心理的なご相談にも協力させて頂いております。ご相談件数は開設の平成16年以後、年々増え続けています。

さて今年度、当院ががん診療連携拠点病院に指定されたのを機に、患者様・ご家族あるいは地域の方々からのがんに関する相談をお受けするため、がん相談支援室を設置いたしました。がん相談専任看護師と事務職員が、治療関連や症状・対応、日常生活でのお困りごと、心理的問題など様々なご相談を個別面接によりじっくりとお聞きし、問題解決のお手伝いをさせて頂いております。

また、同室に医療安全相談室を設け、患者様・ご家族からの苦情、ご相談をお受けし、患者さまサービスの向上および適切な医療安全管理と医療を提供するべく、医療安全推進担当者と事務職員を配置しました。各相談室内には個室を設け、プライバシー保護に努めております。ご利用は無料ですので、お困りの際にはお気軽にご相談にいらしてください。お待ちしております。



7対1看護基準になって

昨年までは患者様から「この病院の看護婦さんはよくしてはくれるけど忙しそうに走り回っているので用事を頼みづらい」とのお言葉を何度かいただきました。私たち看護師はこれを耳にする度に「申し訳ありません」と胸が痛みました。昨年度までの金沢医療センターでは患者10名に対して看護師が1名配置の「10対1」の基準を満たす配置数でした。

しかし、今年度からは私たち看護師の念願であった患者7名に対して看護師1名配置の「7対1」の基準が認められ、看護師数も昨年より約100名増えました。

でも、当初は増員はされても金沢医療センターに不慣れな看護師が100名以上もいる状態でのスタートで、何かとご不便をおかけいたしております。この半年間は「患者様が安心してくださる看護、患者様に添える看護を早くできるように」と新人も先輩も、ともにがんばってまいりました。そして新人たちもようやく先輩とともに夜勤もできるようになり、これからは少しずつではありますが患者様に「この看護師は落ち着いて対応してくれるので安心だ。一人一人に応じた看護をしてくれる」と思っただけのよう願っております。これからも皆様から「看護がいいから金沢医療センターに行こう」と言っただけのようになんげりたいと思います。

看護部 北川 芳美

~~~~~金沢医療センターの理念~~~~~

【理 念】

私たちは、生命の尊さと人権を尊重し、高度で最良の医療をめざします。

【基本方針】

- 一、説明と同意に基づく信頼される医療をめざします。
- 一、臨床研究を行い、医学の進歩に貢献することをめざします。
- 一、病診連携を密にして、地域医療に貢献することをめざします。

「話題の病気シリーズ」 なっとくのいく話

今後の予定

開催場所：当院地域医療研修センター

- | | | |
|------|---|-----------------------|
| 第45回 | インフルエンザの話
～インフルエンザは怖いのか？怖くないのか？～ | 小児科 太田 和秀 |
| | | 平成19年12月20日(木) 午後3時から |
| 第46回 | がんと心の問題について
～サイコオンコロジー(精神腫瘍学)ってご存じですか～ | 精神科 小室 龍太郎 |
| | | 平成20年1月18日(金) 午後3時から |

※ 約40分の予定です。一度お聞き下さい。毎回好評ですよ。

担当医一覧表

平成19年 12月

診療科目	診療時間	【初診受付時間】 午前8時30分～11時30分					備 考
		月	火	水	木	金	
内 科	初 診	吉 村	吉 尾/北	周 藤	長 岡	伊 勢	火曜日: 初診は隔週交代です 木曜日: 初診(消化器)は隔週交代です 糖尿病教室: 第1～第4月曜日(14:00～15:00) 高血圧教室: 第2水曜日(15:30～16:30) 禁煙外来: 12月毎週火曜日(14:00～15:00)要予約
	初診(消化器)	太田(肇)	高 田	松 田	林(武)/田中	丸 川	
	内分泌・代謝①	能 登	長 岡	能登・林(美)	乙 田	長 岡	
	内分泌・代謝②		(能登)	乙 田			
	腎・膠原病	伊 勢	伊 勢	遠 山	吉 村	吉 村	
	血 液	吉 尾			岡 藤	吉 尾	
	呼 吸 器	北	曾 根	北	廣 瀬	廣 瀬	
消化器①	森 本	太田(肇)	森 本	太田(肇)	森本・林(武)		
消化器②	松 田	田 中	丸 川	松 田	高 田		
精 神 科		坂 井	小 室	杉 盛	小 室	坂 井	
神 経 内 科		新 田	坂 尻	新 田	坂 尻	新 田	火: 物忘れ外来(午前・要予約) 水: 頭痛外来(午前) 金: ふるえ外来(午前)
循 環 器 科	一 診	佐 伯	中 村	阪 上	中 村	中 村	初診(毎日)
	二 診	八 重 樫	阪 上	加 藤	阪 上	八 重 樫	
	三 診		佐 伯		佐 伯		
小 児 科	一 診	太 田(和)	盛 坂	太 田(和)	酒 詰	太 田(和)	予防接種: 火・木曜日の15:00～16:00 午後の予約診療時間 月、水14:00～16:30・火、木(健診)13:30～15:00
	二 診	西 田	酒 詰	西 田	盛 坂	齊 藤	
	専 門 外 来			内分泌・西田	小児神経・盛坂	循環器・酒詰	
	午後予約外来		1ヶ月健診・発達	腎 臓 太 田(和)	乳幼児健診・発達	循環器 酒 詰	
	午後予約外来	夜尿 太 田(和)	小児神経 盛 坂	内分泌 西 田	慢性疾患 酒詰/盛坂		
外 科	一 診	桐 山	(手術日)	桐 山	(手術日)	桐 山	
	二 診	竹 川		竹 川		竹 川	
	三 診	黒 坂		黒 坂			
	五 診			小 島			
	六 診	初診(藤本)		初診 藤 本		初診 新 村	
	七 診	道 輪				道 輪	
	乳 腺 外 来	道 輪		桐 山		竹 川	
整 形 外 科	初 診	初診のみ	納 村	初診のみ	藤 巻	初診のみ	
	再 診	(当番医)	池 田	(当番医)	池 田	(当番医)	
	再 診		藤 巻		納 村		
	再 診	(手術日)	内 藤	(手術日)	太 田	(手術日)	
脳 神 経 外 科	一 診	池 田	池 田	当番医	池 田	正 印	月、水、金曜日: 手術日
	二 診	赤 池	正印/赤池	(手術日)	正 印	赤 池	火曜日二診は、一週交代です。(10:00～) 木(14:00～)パーキンソン病外来(要予約)
呼 吸 器 外 科	一 診	太 田(安)	(手術日)	太 田(安)	(手術日)	太 田(安)	
	二 診	東 谷		東 谷			
心 臓 血 管 外 科	一 診	佐々木	遠 藤	佐々木	遠 藤	佐々木	
	二 診		川 上		松 本		
	三 診	(手術日)	松 本	(手術日)	笠 島	(手術日)	
皮 膚 科	初 診 / 再 診	稲 沖	西 島	稲 沖	稲 沖	西 島	乾癬外来: 木曜日(13:30～15:30)
	再 診	西 島	稲 沖	龍 田	西 島	龍 田	
	再 診		龍 田		龍 田		
泌 尿 器 科	一 診	越 田	越 田	越 田	石 浦	越 田	ED外来: 第2・4木曜日 14:30～ ストマー外来: 第3月曜日 13:30～
	二 診	武 田	武 田	石 浦	武 田	石 浦	
産 婦 人 科	一 診	丹 後	瀬 戸	丹 後	金 谷	瀬 戸	妊産婦健診: 午前(月～金)及び 月・水・金曜日午後(15:00～17:00) 火、木曜日: 手術日 午後: 乳房外来(要予約)
	二 診	金 谷	当番医	瀬 戸	当番医	金 谷	
	三 診	瀬 戸	(手術日)	金 谷	(手術日)	丹 後	
			西		西	西	
眼 科	一 診	佐 伯	佐 伯	佐 伯	佐 伯	佐 伯	火・木曜日: 手術日
	二 診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
耳 鼻 咽 喉 科	一 診	荒 館	荒 館	荒 館	荒 館	荒 館	小児聴診: 水～木曜日 めまい: 火、木曜日 月、水、金曜日: 手術日
	二 診						
放 射 線 科	一 診	斎 藤	多 田		多 田	斎 藤	照射の依頼: 毎日可
	(超音波)	牧田・依原	多田・小林	大久保・小林	多田・依原	依 原	
歯 科 口 腔 外 科	初 診 / 再 診	中 尾	(当番医)	能 崎	(当番医)	初診のみ	池 田
	再 診	能 崎		中 尾		中 尾	
	再 診	池 田		池 田		能 崎	
	再 診	結 城		結 城		結 城	
	再 診	達 村	(手術日)	達 村	(手術日)	達 村	火、木曜日: 手術日
麻 酔 科	一 診	岸 植	岸 植		岸 植	岸 植	ペインクリニック、術前診察: 午前中
	二 診	横 山	野 竹			太 田(敏)	

※ 特殊外来及び午後外来は、予約が必要です。なお、急患については、終日受付します。
担当医は都合により変更となる場合がありますのでご了承ください。

立志のつどい



10月4日(木)に立志のつどいを行いました。
初めての実習に向け気持ちを新たに
1年生全員で誓いの言葉を奉唱しました。

また特別講演では石川県立看護大学の丸岡直子先生を迎え
『臨地実習 今昔物語』というテーマでお話していただきました。

学生交流セッションでは1~3年生と教員も交え
看護について語り合いました。
様々な語り合いの中で1年生は実習の不安を解消し、
2・3年生は初心に戻り自己の看護を振り返るよい機会となりました。

園児募集

金沢医療センターくるみ保育所では園児を募集しています。
生後8週間から4月1日の時点で3歳を迎えない乳幼児を
お預かりいたします。

連絡先 くるみ保育所 内線 2541 (共済担当者:内線 2406)

編集後記

地球温暖化のせいかな今年は例年にないほどの暑い夏でしたが、冬も暖冬となるのでしょうか？
日々寒さが増していますが、すぐに暖房に頼らず一枚多く下着を着るだけでも意外と快適に過ごせる
ものです。腹巻きやももひきは、もはやオジサン達だけの専売特許ではありません。
体にも地球にも優しく、冬を過ごしてみませんか？ (N.S)

発行元：金沢医療センター (〒920-8650 石川県金沢市下石引町1番1号)
電話：076-262-4161 (18時以降の救急受付：076-262-4163)、FAX：076-222-2758
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~knzwhosp/> Eメール admin@kanazawa.hosp.go.jp
地域医療連携室 (直通番号 076-262-4187、専用FAX 076-262-4188)

編集委員：大畑義男、緒川陽子、北川芳美、越田 潔、小西千恵子、佐々木久雄、周藤英将、滝野 豊
西井佐織、西原寿代、増田厚司(五十音順)